漢文問題の解き方［例題］30ページで学習した三つのポイントを踏まえて漢詩を読んでみよう。

　＊

　　　　　　ク　イ

①少　年　易　老　②学　難　成

　　　　　　レ

　　　　ノ　　　　　　　　　カラ　　ンズ

　一　寸　③光　陰　④不　可　　　軽

　　ダ　メ　　　　　　　　ノ

⑤未　覚　＊池　塘　春　草　夢

　　レ

　　　　　ノ　　　　　ニ

⑥＊階　前＊梧　葉　已　秋　声

（注）

＊偶成―ふとした思いつきの詩。

＊池塘―池の堤。

＊階前―階段の前。

＊梧葉―あおぎり（樹木の名）の葉。

［1］書き下し文

問1　――線部⑤を書き下し文にして、空欄に書きなさい。（4点）

いくりし

のんずべからず

［　　　　　　　　　　］の

のに

［2］返り点

問2　――線部④に返り点を付けなさい。（4点）

〔　　不　　可　　軽　　〕

［3］訓点

問3　――線部②に、返り点と送り仮名を付けなさい。（4点）

〔　　学　　難　　成　　〕

◆この漢詩を理解するための次の問題も解いてみよう。

問4　――線部①・③の意味として最も適当なものを、それぞれ次から一つずつ選び、記号で答えなさい。（3点×2）

①　ア　青年　　イ　幼児　　ウ　子供　　エ　赤ん坊

③　ア　時間　　イ　栄華　　ウ　油断　　エ　灯火

①＝（　　　　）　　③＝（　　　　）

問5　漢詩では、句末（それぞれの行の一番下の字）の響きをそろえることによってリズムを生み出す技巧（）が用いられる。「成」と同じ韻（響き）の漢字を二つ書きなさい。（5点）

〔　　　〕〔　　　〕

問6　――線部⑥は、どのようなことを言おうとしているのか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。（5点）

ア　さわやかな秋の訪れ　イ　季節の確実な歩み

ウ　大きな自然の営み　　エ　人間の寂しさと悲しさ

〔　　　　〕

問7　この漢詩の主題として当てはまらないものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。（5点）

ア　後悔先に立たず　　イ　歳月は人を待たず

ウ　光陰矢のし　　　エ　人間が

〔　　　　〕

問8　次の四字熟語は、漢詩の四句（四つの行）を指す言葉で文章構成のあり方を表す。空欄に適当な漢字を補いなさい。（6点）

［　　　］承［　　　］結

【解答】

問1　未だ覚めず　　4点

問2　不　可　軽　　4点

　　　　レ　レ

　　　　　　シ　リ

問3　学　難　成　　4点

　　　　　　レ　レ

問4　①ア　　③ア　　3点×2

問5　軽・声　（完解）　　5点

問6　イ　　5点

問7　エ　　5点

問8　起・転　（完解）　　6点

◆現代語訳

偶成（ふとした思いつきの詩）

若者は年老いやすく、学問は大成しにくい。

だから、少しの時間も軽視してはならない。

まだ池の堤の春草の夢から覚めていないのに、

（＝まだ春のにっているのに）

階段の前のあおぎりの葉には秋の気配が忍び寄っている。

（＝いつの間にか季節は確実に秋へとっている）